

第215回 番組審議会

1. 日 時 平成24年9月11日(火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 12名
出席委員数 10名(欠席委員数 2名)

○ 出席委員(敬称略)

中村 慶久(委員長)
竹中 陽一(副委員長)
—以下50音順—
久慈 浩介
斎藤 雅博
東海林 千秋
菅原 正二
原 圭介
八木橋 伸之
役重 真喜子
吉田 浩次

○ 会社側出席者(7名)

佐藤 滋樹(代表取締役社長)
小原 忍(専務取締役)
藤澤 利憲(常務取締役)
前田 秀男(取締役編成技術局長)
藤原 銀司(取締役営業局長)
高橋 聡(めんこいエンタープライズ制作部長)
吉田 沙織(めんこいエンタープライズ制作部)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題

FNSソフト工場「前神未到 かみわ座」

平成24年8月17日(金) 19:00～19:55放送

5. 議事概要

今回は8月17日(金)に放送した「FNSソフト工場 前神未到 かみわ座」を審議しました。議事の概略は以下の通りです。

● めんこいエンタープライズ 高橋プロデューサーの説明

- ・ 「FNSソフト工場」は、FNSフジテレビ系列の制作力向上と人材育成を図ることを目的としてスタートし、今年で14年目を迎えた。めんこいテレビでは、これまでに7作品を制作した。
- ・ 全国を4つのブロックに分け、企画コンペで最高点を獲得した1局が制作することができ、今回はめんこいテレビが北海道・東北ブロックで1位を獲得した。

● めんこいエンタープライズ 吉田ディレクターの説明

- ・ めんこいテレビの放送時間がゴールデンタイムであること、全国で放送されることを意識し、家族みんなで楽しめるわかりやすい脚本構成にした。
- ・ 「役に立たない、披露する場所がないけれどすごい技、ちょっとおもしろい技」のコンセプトにあったネタをリサーチするのが大変だった。特に岩手や東北に関連するネタにこだわったが、そこが一番苦労した。
- ・ バラエティを制作した経験が少ないので、構成作家と一緒に制作する形をとった。構成作家の番組への取組み方や面白さの汲み取り方などを今後の番組制作に活かしていきたい。

● 出席委員からの意見・感想

- ・ 手堅くまとまっていた。

- ・ 家族皆で楽しむバラエティとしては、良かった。
 - ・ 大船渡の笹野さん、宮城の小川先生と被災地から2名紹介したことは、応援という意味で良かった。
 - ・ 最後に凄い人を紹介するなど、出演者の順番を考えるべきだったのではないかな。
 - ・ 震災後1年半というタイミングでバラエティ番組を制作することに疑問を感じる。
 - ・ 「神技」というタイトルの割には内容が浅かった。
 - ・ 背伸びして作ったという印象で、練れていない感じがした。
 - ・ 視聴者からも情報収集し、企画を育てていってはどうかな。
 - ・ これからも岩手、東北の「凄い人」を紹介する番組を制作してほしい。
6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置
特になし
7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日
- * 平成24年9月12日（水） 産経新聞 東北版
 - * 平成24年9月22日（土）午前4時42分から4時45分まで「めんこいテレビ番組審りポート」内で放送
 - * 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした
8. その他の参考事項
特になし